

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

| | | | |
|---------|--|----|-------------|
| 代表者氏名 | 星野 悦子 (ほしのえつこ) | 所属 | 上野学園大学 音楽学部 |
| 研究集会等名称 | 音楽心理学研究会 | | |
| 成果概要 | <p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 15名 (うち認定心理士 1名) 非会員 2名 (うち認定心理士 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>1、 集会等の目的:本研究会では例会を2か月に1度程度の割合でおこない、以下の内容の実施を目的とした。 内容:以下の英語原典を購読して内容を議論した。 ① “Musical Communication” (Edited by D. Miell, R. MacDonald & D. Hargreave) ② “Music Perception” (Edited by M.R. Jones, R.R. Fay & A.N. Popper) 例会日は以下の通り。 2012年5月4日 第44回例会 2012年7月7日 第45回例会 2012年7月28日 第46回例会 2012年10月7日 第47回例会 2012年12月2日 第48回例会</p> <p>2、 集会の成果:例会のほかに、日本心理学会第76回大会(専修大学)においてワークショップを研究集会と位置づけて、平成24年(2012年)9月12日に実施した。内容は以下の通りである。 テーマ:「音楽心理学研究の現在と未来(4)～音楽・感情・身体」 内容:趣旨説明1件(企画代表:星野)、話題提供4件、指定討論者1名(重野純)、司会者2名(佐藤、生駒)、フロアの参加者50名。 話題提供のタイトルと提供者名を記載する。 「音楽が表現する感情、音楽に読み取る感情」(山崎晃男)、「音楽によって経験される強烈な情動がもたらす心理生理反応」(森数馬)、「合奏の協調と共演者の身体動作」(片平建史)、「演奏者の不安と身体反応」(吉江路子)。これらの予稿集を兼ねた「音楽心理学研究会論文集第5巻」をフロア出席者全員へ配布した。 音楽の聴取や演奏にさまざまな感情が伴われることは多くの人が経験する。なぜどのようにそうした心理的・身体的反応が出現するのかについて、現在の新しい研究成果を概観すると同時に、最前線の研究を行なっている話題提供者の研究紹介が多くの会員の関心を引き、大勢の参加があった。</p> <p>3、 将来計画:次年度には、日本心理学会第77回大会での公募シンポジウムとして研究集会を企画している。</p> | | |